

# にっぽん いち 日本一になるぞ——!



いばらき いたこし  
茨城・潮来市

いたこし りつしほりしやうがう しょうがく ねんせい ちやうお うおと な だんせい まつた ちはる しちやう みぎはし いたこし  
潮来市立牛堀小学校の小学5年生。中央の大人の男性が松田千春市長。右端は潮来市のゆるキャラ、あやめちゃん

## せんしゆけん し ない しょうがっこう ねんせい さんせん バケツイネ選手権に、市内の小学校5年生みんなで参戦!

栽培



がつ 13 日には、市内の関係団体を招待して盛大に種まき祭りが行なわれた

今年3回目になるバケツイネ選手権。昨年よりグンとたくさんエントリが集まっているぞ。なかでもひときわ目立つのが、米どころの茨城県潮来市からのエントリ。なんと市内6つの小学校5年生全員(265人)が参戦するというのだ!

きっかけは、市長の松田千春さん。今年の春に『バケツで実践 超豪快イネつくり』(農文協刊)を読んでバケツイネ選手権のことを知り、ビビっときたとか。

「潮来のこどもたちに、米や稲作文化、農業の魅力を知ってもらいたい」という思いで、バケツイ

こだわりは品種。潮来市のブランド米「潮来あやめちゃん」(コシヒカリ)を全員で栽培する。単に米の粒を増やすだけでなく、「潮来あやめちゃん」ならではのおいしさも追求するそう。収穫後の米は食味値も検査して、独自に「食味値部門」「千粒重部門」の表彰も行なう予定だ。

栽培の指導をしたり、まさに地域ぐるみで応援している。

稲作研究会、農機具屋さんたちも立ち上がった。資材を提供したり、学校の指導をしたり、まさに地域ぐるみで応援している。

バケツイネは市内ほとんどの小学校にとって初挑戦。そこで、地元農協、普及センター、大規模稲作研究会、農機具屋さんたちも立ち上がった。資材を提供したり、栽培の指導をしたり、まさに地域ぐるみで応援している。

のら部のみんな、負けちゃおれんぞ!

